

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	西江原地区 まちづくり 協議会 計100万円	高齢者 元気アップ事業 (継続)	高齢者グループが互いの学習活動に取り組む「甲山はつらつ学園」では、学園生(高齢者)対象だけでなく、児童のふるさと学習支援や昔遊びなど郷土の歴史文化の伝承のほか、まちづくり行事でのグッズ活動、先進地視察交流等、学園生が主体的に企画し実施することで、次代を担う町民へ伝承するとともに、自らの生きがい創造と西江原地区の活性化、健康寿命の長い元気なまちづくりを目指す。		340,000	280,000
2		雄神川流域の 自然と環境を 保護する事業 (継続)	雄神川流域の環境保護と地域の連携と活性化を目指すため、名勝「道祖溪」から雄神川流域の住民と協力して、「ほたるの郷」周辺の川辺の草刈、川土手への花の球根の植栽、蛍の鑑賞会、蛍の幼虫の放流・育成・保護活動、「冬蛍」と称したLEDネオン装飾、地域行事と連携したイベント等を実施する。また、地元小学校4年生を対象に、「道祖溪」や「永祥寺」、「明治池」を探訪する事業を引き続き実施する。		250,000	250,000
3		神戸川を活かし ともに生きる事業 (継続)	神戸川流域の地域住民が、河川の清掃・整備及び美化活動や棲息生物の調査、花火大会の実施・鑑賞、蕎麦の栽培・収穫・蕎麦打ち体験などを通じて、子どもから大人まで神戸川の美化に取り組みながら交流し、豊かな心や郷土愛の醸成を図る。		200,000	200,000
4		ふるさとの文化を 探し活かす事業 (継続)	家庭で作られていたまつり料理や保存食などの食文化について、現役世代や子どもたちに伝承するため、「ひな祭りを楽しむ会」や「味噌づくり教室」を実施する。また、「ふれあい朝市」を開催し、自作産物を販売することで、町民生産者の意欲的な生産への取組みと関係者組織の自主運営への発展、ならびに「西江原の文化」となる作物の発掘を目指す。その他、伝統芸能「道祖踊り」と「西江原与一太鼓」の活動促進を図り、伝統行事の維持発展に繋げるほか、「甲山」や史跡を巡る複数の散策コースを設定し、町民の健康づくりへの活用を促す。		290,000	270,000
5	青野地区 まちづくり 協議会 計133万円 (うち人口増 33万円)	環境美化事業 (継続)	増加傾向にある荒廃地を減少させ、住みよいまちにするため、下記環境美化事業を行う。 ①年間を通して、沿道に花を植え付ける。9月のマリア大会時には花で会場を彩るとともに、マリア参加者にまちづくり協議会のPRを行う。 ②地域で草刈り、支障木伐採が必要な場合には、ボランティア会員が対応し、伐採後の支障木等を有効活用する。		340,000	340,000
6		人財育成事業 (継続・人口増)	青野地区への移住定住者を増やし、葡萄栽培後継者の育成につなげるため、下記事業を実施する。 ①子どもたちを地域全体で見守り、子育て世代が安心して暮らせる地域にするため、あおっぴい子ども教室の活動を支援する。 ②地域産業である葡萄をPRするため、市内外から葡萄栽培体験希望者を募集し、栽培作業を体験することで興味を持ってもらう事業を実施する。	○ ②子育て支援を図る事業 ③市外在住者との交流を図る事業	680,000	330,000
7		魅力発信事業 (継続)	①今後のまちづくりのあり方を考え、新規事業の提案、住民アンケートを実施する。 ②マリアキャラクター「あおっぴい」を中心としたイベントでのPR活動、学校・公民館・葡萄浪漫館との連携、お知らせくんやSNSを活用した広報活動、「あおっぴい」を使用したグッズ製作・販売、市内まちづくり先進地等の視察研修を行い、地区内外に青野地区の魅力を浸透させるとともに、地域や会員間の一体感を創出する。 ③特産品としてのこんにゃくや里芋コロッケのほか、新たな特産品を開発するための勉強会を継続して実施し、地産地消を目的とした加工品づくりを行い、地域に根差した6次産業の活発化を目指す。		780,000	660,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
8	地域の学び事業 (継続)	①まちづくり活動への理解や関心が高まることを目的に、年1回広報紙を発行し、全戸配布する。 ②芳井の文化を学び、魅力を発信・継承できる人材を育てることを目的に、「芳井風を編む会歴史講座」を開催し、生涯学習の一助とするとともに、文化資源の継承を図る。		280,000	280,000
9	子育て・福祉支援事業 (継続・一部新規、一部人口増)	①寺子屋食堂体験学習事業 子どもたちが市内の施設を訪れ、郷土の伝統行事や体験学習、地域の特産品などを身近に学ぶ機会を提供する。 ②小学生学習支援事業 夏季休暇中、小学生の絵画や習字等の学習支援を実施する。 ③青色防犯パトロール支援事業 児童・生徒の安全見守り活動を行い、登下校時の安心・安全を確保する。 ④後月くらぶ事業(新規) 高校生以下の子どもたちを対象に、芳井の自然・文化・地場企業などの魅力を学び、発信・継承できる人材を育成する。 ⑤福祉サービス検討事業 高齢者への簡単なボランティア活動等を行う福祉サービスについてアンケート調査結果や協力ボランティアの調査結果から実施可能な事業検討を行う。	○ (1)(2)(3)(4) ②子育て支援を図る事業	360,000 (うち人口増) ①120,000 ± ②50,000 ± ③50,000 ± ④100,000 ± 320,000)	360,000 (うち人口増) ①120,000 ± ②50,000 ± ③50,000 ± ④100,000 ± 320,000)
10	防災対策事業 (継続)	まちづくり協議会の役員や町内自治連合会長等を対象に、防災対策研修会を開催し、避難に役立つ情報の入手方法や日頃からの備え、災害時の適切な判断や行動について学ぶ。		100,000	100,000
11	芳井町 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 80万円)	①芳井の夏祭り創造事業 芳井宵あかりで灯りの展示を行う団体の募集やまちづくりステーションの設置を行い、多くの芳井町民が参加できる夏祭りを目指した企画運営を行う。また、竹あかりのワークショップを開催し、住民による灯りの展示で夏祭りを盛り上げる。 ②地域特産品ブランド化事業 「明治ごんぼう」をはじめとした赤土野菜の6次産業化を生産者及び地域住民で推進し、「郷土の宝」としての意識を共有し、さらなるブランド化を進め農業経営の安定化を図り、住民及び移住者等の就業意欲の向上と農業経営者の担い手確保に繋げるとともに、ご当地愛の醸成に繋げる。また、ごんぼうイベントを通じて市外の参加者と交流を図る。 ③寿の森公園環境整備事業 継続して公園の整備・清掃・芝桜の補植を行い、マイタウン意識の高揚を図る。 ④天神峡の自然学習イベント「川の学校」事業 天神峡で「川の学校」を開催し、水中生物の観察、川の遊び方、川の漁具の学習、鮎などのつかみ取りを通して、小田川の豊かさを学び、仲間との協調性・連帯意識の向上を図る。 ⑤豊かな里山づくり事業 ヤギを耕作放棄地に放して除草と有害獣防衛を行う。また、ヤギとのふれあいにより地区住民の癒し効果を高めるとともに、その様子を情報発信し、地域外からの観光目的の交流人口増を目指す。	○ (4) ②子育て支援を図る事業 (2)(5) ③市外在住者との交流を図る事業	560,000 (うち人口増) ②200,000 ± ④50,000 ± ⑤30,000 ± 280,000)	560,000 (うち人口増) ②200,000 ± ④50,000 ± ⑤30,000 ± 280,000)
12	移住・定住対策事業 (継続、人口増)	空き家所有者へのアプローチ方法、活用までのマニュアル化、利活用者の募集などの課題解決に向け、不動産業者等の専門事業者と連携する方法について、調査、研究を行う。	○ ①空き家対策及び移住者支援事業	50,000	50,000
13	賑わい創出事業 (継続、人口増)	交流人口、関係人口、定住人口の増を生み出す「賑わいの拠点づくり」に向けて、地域内の商工業事業者等と意見交換会や研修会を行う「商工業賑わい創出事業」、地域内の出荷組合や農業者団体等と意見交換や研修会を行う「農林業賑わい創出事業」を実施し、それぞれ知恵を出し合いながら、地域独自の新商品開発やブランド力の向上、ビジネスマッチングや労働力確保などに繋げていく。	○ ③市外在住者との交流を図る事業	150,000	150,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
14	荏原地区 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 50万円)	子育てサポート事業 (継続・人口増)	①「土曜キッズ 広場アソボー」 幼保園児・小学生を対象に「遊びの先輩ボランティア」40名が、荏原の自然を活かし自分で遊び道具を作り思いっきり頭体心を動かして遊ぶことを手ほどきし、物作りの楽しさを伝え、地域の人や子ども同士で温かな人間関係を広げる。 ②「荏原っ子安全見守り隊 青色防犯パトロール隊」 児童・生徒の登下校時に、隊員25名(青パト23台)が4時間帯と4地域の巡視担当を決め、パトロールを実施し、安全見守りと地域防犯活動を行う。 ③「自学SPACE荏原」 定期考査前の中学生を対象に、ボランティア10名が荏原公民館で学習支援を行う。これにより地域の人との関係が育ち、地域行事への中学生ボランティア参加に繋げる。 ④「オール早雲の里ウォーキングデー」 地域内を巡るウォーキング大会を開催し、子どもたちに地区名・道筋・地形等を知る機会をつくり、地域に対する関心を持ち、荏原に愛着を持てる子どもを育む。 ⑤「郷土の先輩偉人早雲公」 当事業で作成した双六等を活用して、児童が遊びや絵話を通して郷土の偉人である北条早雲公が名君であったことや故郷思いであったことを理解し、誇りに思うことで、荏原への郷土愛を育むとともに、地域住民への波及効果を狙う。	○ ②子育て支援を図る事業	500,000	500,000
15		高齢者支援部会事業 (継続)	①「ふれあい広場」事業 高齢者等を対象に「集いの場づくり」「居場所づくり」として、公民館において食事の提供、専門家の出前講座、園児・児童との交流、娯楽活動等を実施し、生活支援と外出機会の場を提供する。 ②「駅前朝市」事業 荏原地区内に交流の場、賑わいの場を創出するため、「早雲の里荏原駅」北側駐車場と交流センターを活用して、毎月1回朝市を開催する。また、地域外からの出店者や来場者を増やし賑わいの場を拡大する。		642,000	400,000
16		歴史継承振興事業 (継続)	北条早雲のPR事業と高越城址の整備・清掃を行うため、歴史講演会の開催や北条早雲ウォーキングコースへの案内板の設置、高越城址やウォーキングコース周辺の草刈りや清掃を実施し、地域住民の理解を得ながら、「北条五代大河ドラマ化」に対する意識の向上と機運の盛り上げに繋げる。		350,000	350,000
17		早雲の里えばら 広報事業 (継続)	荏原地区の各団体の行事予定を広報誌(年3回発行)のほか、HP・Instagramにより広く地域内外に発信し、他地区からの参加、来訪者を増やし、荏原地区の更なる活性化・定住化を図る。また、防災についても情報提供・周知徹底を図り、地区民の防災意識を高める。		150,000	150,000
18		早雲の里えばら イベント事業 (継続)	コロナに左右されない地区民全員が参加できる下記イベントを消防団やPTAの若者が中心となって実施することにより、地区の一体感の盛り上げ活性化と世代交代のきっかけに繋げる。①早雲ビザン(7月下旬)、②夏イベント(8月中旬)、③早雲青空市(11月中旬)、④コンサート講演(2月中旬)		100,000	100,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額(円)	採択額(円)
19		いすえ総合活性化事業(継続)	(活性化部会事業) ①花いっぱい運動は、花の季節に合わせて美化活動等を行い、地域の環境美化を目指す。 ②伝統的食文化研究事業では、子どもたちに味噌づくりを体験してもらうほか、毎月、古くから伝わる郷土食料理に親しみ、日々の食生活に関心を持ってもらう。 ③歴史研究会事業では、地域の歴史を伝承する講座や探訪会を開催し、出部の史跡を再発見する。 (広報部会事業) 「ふるさと出部」の発行(年4回)とインターネットによる情報発信を行い、地域の一体感を醸成する。		510,000	410,000
20	いすえ地区まちおこし協議会 計150万円(うち人口増94万円)	いすえ未来活性化事業(継続・人口増)	出部の地域づくりのために人口増(出生人口・移住人口・関係人口・交流人口)を模索するとともに、将来を担う子どもたちにとって明るく楽しいまちづくりを目指す。 ①ソフアツッ事業 いすえカエとの連携イベントとして音楽ライブを実施するなど公民館外でのイベントの企画・実施 ②いすえ夏フェスの開催 花火の打上げ、駅前広場の夜店の出店 ③婚活支援 婚活支援につながるイベントの開催	○ ③市外在住者との交流を図る事業	3,030,000	940,000
21		いすえ安心安全のまちづくり事業(継続)	地域住民が安心安全に暮らせるために、地域住民の防災意識の向上を目指し、啓蒙活動や防災訓練を通じて、お互いの絆を深めつつ災害に強いまちづくりを目指す。 ①指定避難所開設訓練(小学校で年1回実施) ②各連合会を主体とした防災会の情報共有との連携、段ボールボックスなどの備蓄品の検討 ③黄色いいしをかを使用した防災訓練		150,000	150,000
22		稲倉朝市「いきいきマーケット」事業(継続)	毎月1回、地元の新鮮野菜等を販売する朝市を実施し、地域の多くの人を集め、賑わいのある元気あるまちづくりを目指す。なお、小学生にお手伝い隊員を依頼し、子どもたちと一緒に朝市を盛り上げる。		500,000	290,000
23		みんなでつなごう笑顔の“わ”事業(継続)	バンド演奏や踊りで地域の多くの方々や小学校児童との交流の場を広げ、活力ある笑顔の絶えないまちづくりを目指す。また、演奏、踊りの練習のほか、かかし展示への出展やイベントへの参加を通じて、大人から子どもまでコミュニケーションを深める場を創出する。		250,000	250,000
24	いきいき稲倉まちづくり協議会 計130万円(うち人口増56万円)	「みんなの力で魅力あふれる稲倉に」事業(継続) <事業名変更>	下記事業を通して「稲倉」の魅力を感じてもらえる自慢のふるさと「稲倉」にしていきたいことを目指す。 ①ホタルが生息している川の草刈り・清掃、カワニナの採取・放流、ホタルの幼虫の購入・放流、ホタルの生息地を表す立看板(図案・標語は親子で作成)等の修復・設置、「ホタルロード」の幟旗を設置、ホタル成育過程の観察 ②稲倉地区の魅力の再発見や住民同士の交流の場となることを目的に親子で参加できる「いなくら健康ウォーク」を開催する。 ③休耕田でヒマワリ、コスモスを栽培し、年間を通してやすらぎのある風景を作る。		200,000	200,000
25		稲倉の新しい価値再生事業(継続、人口増)	増加する耕作放棄地や休耕田を活用し、米造りを共同作業で行い、田植え、稲刈りなどの農業体験や田圃オーナー制度などに地域外の人にも参加してもらい、地域活性化と交流を図る。	○ ③市外在住者との交流を図る事業	570,000	560,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
26	野上地区 まちづくり 協議会	「生活の足」 対策事業 (継続)	車の運転ができない高齢者に買い物を楽しんでもらうため、利用店舗からの負担金により外へ事業者を利用した買い物支援を行ってきたが、事業が継続できるほどの負担金が集まらず、補助金に依存した事業となっているため、事業は継続しながらも、公共交通や外へ事業者に依存しない、住民による住民のための移送サービスを検討する。		564,000	483,000
27	野上地区 まちづくり 協議会 計65万 1千円 (うち人口増 13万 4千円)	のがミーツが 事業 (継続・人口増)	「野上地区まちづくりアクション」の啓発と実効性を持たせるため、「寄合(よりあい)」を開催し、テーマを持った緩やかなネットワークや連帯感、仲間意識の醸成を図り、楽しみや生きがい等を発見する。 ①地域内独身男性の「カッリッ」に向けて男を磨く「男塾」の開催 ②先進地との交流 ③昔から地域に伝わる「タレ」や「味噌」の作り方などを習得する「こだわり塾」の開催 ④HPによる野上地区の情報発信	○ (①④) ③市外在住者との交流を図る事業	178,000 (うち人口増 ①94,000 ± ④40,000 三 134,000)	168,000 (うち人口増 ①94,000 ± ④40,000 三 134,000)
28		広報紙発行事業 (継続)	総合的なまちづくり情報を地域住民と郷土との繋がりを持ちたいと考えている方に提供するため、まち協、公民館、社協、自治連合協議会の4団体と連携して広報紙を年3回発行する。併せてデジタルコンテンツでも発信していく。 また、HPやフェイスブックを活用し各世代や地域に情報発信することで、他地区との交流を深め、井原市のまちづくり全体の活性化を目指す。		300,000	240,000
29	泉の里 まちづくり 推進協議会 計104万円 (うち人口増 40万円)	地元の一歩開発事業 (継続)	耕作放棄地対策と特産品づくりのために、次の事業を実施する。 ①サツマイモを使った焼酎造りを継続し、特産品としての位置づけに力を入れるとともにサツマイモ生産を地域農業の産物として広めていく。 ②焼酎の原料であるサツマイモ(黄金千貫)を使用した「夢チップス」が好評価を得たため、特産品として位置付ける。 ③さくいもを原料としたチップスも好評につき、作付けから製品化に向けた取り組みを行う。 ④昨年度に引き続き、蕎麦栽培、苗物生産が耕作放棄地解消に繋がるか検討する。 ⑤地域内の無人販売所の継続運営 ⑥小学校郷土学習への協力		445,000	400,000
30		「ふるさとかかし」 「かかしフェス」等 による地域活性化事業 (継続、人口増)	次の①～⑥の事業を通して、大人を含め、次代を担う子供達を巻き込み、少しでも農業について考えるとともに、市内外の多くの人々との交流を図る。 ①「ふるさとかかし」づくり講座の開催 ②他地域との「ふるさとかかしづくり交流講座」の開催 ③かかしフェスの開催 ④市南部の各地域による「かかしロード」構想実現に向け、他地域へ1体でも設置するよう調整を図る(井原市ひとづくり事業との連携) ⑤かかし広場の整備 ⑥かかしフェス会場の他、空地への花の苗を植栽	○ ③市外在住者との交流を図る事業	495,000	400,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第1次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
31	木之子地区 振興協議会 計50万円	木之子町内 活性化事業 (継続)	定着してきた「きのこふれあい朝市」を継続して年6回実施し、軽トラでの出店を中心に、町内の個人や団体が気軽に出店してもらい、また各コーナーの子どもの参画を呼び掛け、高齢者の生きがい対策や地域住民間のコミュニケーションを深める場として一層の充実を図る。 馬越恭平をテーマとしたビール漬けなど今までに開発した漬物の品質の向上に努めるとともに、町内のみならず他地区のイベントへ参加するとともに、ビール漬けコンテストの実施を研究する。		473,000	250,000
32		きのこふれあい 安心・安全ロード運動 (継続)	①地区内の県道上稲木東江原線に、通行者の安全意識の向上を図るため、のぼり旗を設置する。 ②年2回の全国交通安全運動期間中に警察署の協力を得て、街頭での交通安全運動を実施する。 ③お知らせくんだり等で、交通安全を呼び掛ける。 ④小学校の交通安全行事に積極的に参加し、学校と地域が一体となって子どもたちの交通安全意識の高揚を図る。		150,000	150,000
33		木之子三世代交流 グランドゴルフ大会 (継続)	町内の一体感の醸成を図るため、自治会や各種団体から参加者を募り、子供から高齢者までが参加する三世代交流グランドゴルフ大会を開催する。		110,000	100,000
34	大江 まちづくり 協議会 計150万円 (うち人口増 50万円)	大江三世代・ 平成森の会事業 (継続)	地区住民が世代を超えて「平成の森」に集い、グランドゴルフ大会や花見会、記念植樹会等のイベントを通じて、笑顔で楽しく暮らせる健康的なまちづくりを行う。 ①グランドゴルフ大会の開催 ②小学校卒業生の記念植樹会の開催 ③平成の森の環境整備		195,000	150,000
35		大江の歴史に 学ぼう事業 (継続)	大江町民が地元大江の歴史を学ぶことにより、郷土愛の醸成や町民相互の親睦を図る。 ①先人の業績や史跡等のついで、講演会や勉強会を開催 ②史跡の環境整備 ③史跡探訪ウォーキングの実施 ④小学生への啓蒙活動		140,000	130,000
36		賑わい創造事業 (継続)	観音丸江とガリッフェイバルを開催し、出会い・ひろがり・つながりの輪を育てるとともに、地区内外の人々と交流することにより地域活性化を図る。		270,000	240,000
37		地域安全事業 (継続)	先進地視察研修を通じて、減災へのノウハウを学び、災害時に地域住民が的確に判断し、安全な行動がとれるように、大江の地に沿った減災・安全体制を研究し、地域住民の防災意識の高揚を図る。		290,000	200,000
38		ロ-ズバ-IO事業 (継続)	大江町民の憩いの場として親しまれる公園にするために、地域住民が町内にある相原公園の環境美化活動を行う。 ①公園内の汚れている水路の清掃・管理 ②バラの植付、遊歩道の整備 ③除草と水の管理		300,000	280,000
39		空き家対策事業 (継続、人口増)	大江町の人口増加を図るため、空き家対策事業を行うとともに、安心して暮らせる環境づくりを行うため、高齢者へのアンケート調査を実施する。 ①自治会長の協力を得て、空き家管理台帳を充実させるとともに、市の空き家バンクへの登録を促す。 ②空き家対策の先進地視察研修 ③空き家の維持管理・環境整備 ④高齢者へのアンケート調査の実施	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	530,000	500,000

合計
(うち人口増)

10地区
8地区

39事業
11事業

15,772,000 11,821,000
6,739,000 4,164,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第2次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	木之子地区 振興協議会 計100万円 (うち人口 増60万円) ±1次採択 額50万円＝ 150万円	木之子地区自主防災事業 (継続)	地区民の防災意識の高揚や、防災に関する知識の普及などを目的に木之子地区の「防災の日」に地区民を対象とした防災訓練や他地区への先進地視察研修等を実施する。 ・防災訓練(11月に開催) 各種体験、訓練、パンフレット等の配布など		160,000	160,000
2		きのこふれあい クリスマス会2023 (継続、人口増)	地元小学校の木に電飾を施し、約1カ月間点灯する。12月中頃に、各種団体などが中心となりイベントを開催する。チャリティバザーやステージイベント、地区の話題を題材にした手作り映画の披露など、子供から大人までが楽しめる多くの人が集える場として充実させる。	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	600,000	500,000
3		きのこの偉人顕彰事業 (継続)	地元出身のビール王「馬越恭平」生誕の地であることを再認識してもらうために、各種イベントを実施する。この事業を通して、地区民(特に子ども)の郷土愛を醸成し、郷土愛を持つことにより、Uターン等木之子への帰郷、定住を促進する。		90,000	90,000
4		おらがまち事業2023 (継続)	①「きのこ♡FULLマップ」の充実を図るため、町内の名所や風景などの写真を住民から募集し、木之子のいいところマップ「一押し!ふるさとときのこ(仮称)」を作成し、町内外へ配布する。 ②マップの作成にあたり町民から写真を募集し、写真コンテストを実施する。 ③地踊りを再興し、後世に伝承すべく踊りをDVDにして、広く町民に普及する。また、DVDは町内のイベント等で活用するとともに、町民・各種団体等へも貸し出しを行う。		190,000	150,000
5		きのこ夏フェス2023 (継続、人口増)	新たな風物詩創りを行い、また世代を超えた交流を図ることを通して、子どもから大人まで木之子が好きになり、住み続けたいと思える地域づくりを行うため8月に夏フェスを開催する。 ○ふるさと花火 ○子どもフェス・大人フェス	○ (3)市外在住者との交流を図る事業	615,000	100,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第2次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を 目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
6	野上地区まちづくり協議会 計54万1千円(うち人口増54万1千円)+1次採択額65万1千円=119万2千円	空き家活用事業 (継続、人口増)	利活用可能な空き家について、簡易な修繕等を含むワークショップを開催し、町内外から参加者を募り、町民と空き家問題を共有する。また、移住希望者等に対しては野上町に興味を持ってもらうきっかけとする。 ①空き家の片付け及び修繕 ②修繕ワークショップ兼移住希望者交流会	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	366,000	346,000
7		里山活用事業 (継続、人口増)	間伐材を用いたシイタケ栽培を実施する。市外の移住希望者等にワークショップを通して、地元住民との交流、田舎暮らしの一部を体験してもらうことで、野上への定住を促進する。	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	215,000	195,000
8	いきいき稲倉まちづくり協議会 計20万円+1次採択額130万円=150万円	未来へつなぐ、花火と希望の灯り事業 (新規)	稲倉地区の活性化のために「花火大会」及び「イルミネーション希望の灯り事業」を実施する。 ①花火大会(8月) ②イルミネーション希望の灯り事業(11月下旬から令和6年1月上旬)		200,000	200,000
9	県の里まちづくり推進協議会 計36万円+1次採択額104万円=140万円	ふるさと便利屋さん事業 (継続)	高齢者や一人暮らしの世帯の軽微な作業(小規模修繕、草刈り・剪定、支障木の伐採等)を依頼に応じて実施する。		1,263,000	360,000
合計 (人口増)		4地区 2地区	9事業 4事業		3,699,000 1,796,000	2,101,000 1,141,000

令和5年度 井原市がんばる地域応援補助金第3次採択事業一覧

	地 区	事業名	事業内容	人口増を目標した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	井原市まちづくり協議会連絡会議 計33万2千円(うち人口増4万1千円)	まちづくり計画策定 基礎講座 (継続)	昨年度まちづくり計画策定のための基礎講座を実施したが、すべての地区において実行できている状況ではない。これまで実行できていない理由・課題を話し合い、互いに共有することから始め、課題の解決につなげたい。まちづくり計画は、地区まちづくり協議会を運営していく上での指標となるもので、地域住民が地域課題を抽出し、その解決のため、それぞれの地区が、長期ビジョン及び中期計画を策定し、持続可能なまちづくりを目指すことを目的に、専門家を招いてまちづくり計画策定のための講座を3回開催する。		76,000	76,000
2		空き家活用研修会 (継続・人口増)	空き家問題への理解を深めるため、昨年度に引き続き、空き家バンクの現状やバンクの活用事例、移住相談者の相談やまちづくり協議会の受け入れ体制で必要なことについて、市担当者から実情や今後の方針等を学び、お互いに協働で課題解決できる方法を模索する研修会を開催するとともに他地区の取り組みなどを参考にできるよう意見交換などを行う。	○ (1)空き家対策及び移住者支援事業	41,000	41,000
3		視察研修 (新規)	人口減少・少子高齢化は国の構造的な問題ではあるが、各地区において、それらの原因とする課題に直面している。そうした中で、若者・移住者・子育て世代が住みたいと思えるまちづくりに取組み、成果を上げている先進地の取り組みや会社を設立して地域課題に取り組んでいる事例を参考に、今後の各地区のまちづくり事業につなげることを目的に、島根県安来市において、持続可能な地域づくりを行う株式会社として、88の戦略プランからなる地域ビジョンの達成を目指して活動している「えーひだカンパニー株式会社」にて視察研修を行う。		215,000	215,000
合計 (うち人口増)		1団体 1団体	3事業 1事業		332,000 41,000	332,000 41,000